

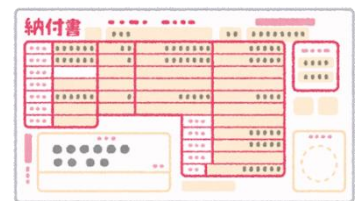


2021年3月号

## 多様化する納税方法

### 納付書で納税していたが…

税金の納税といえば、納付書を持って銀行に出向き納めるということが以前は通常でした。税金の納付のために金融機関の窓口で長らく待たされた、ということも多かったと思います。それが、最近では様々な納税方法が出てきています。



### 口座振替

まずは、口座振替です。預金口座を登録しておく、納付日に該当口座から税額が引き落としされるものです。一度登録しておけば、自動的に引落がされるため、銀行窓口に行く必要はなく便利です。手数料もかかりません。

ちょうど今の時期確定申告が行われている所得税に関して、利用している方も多いと思います。口座振替を選択している人が所得税の確定申告を行うと、その申告した税額が期日になると自動的に口座引落されます。

所得税の他、地方税である固定資産税や個人事業税も口座振替を利用することができます。

口座振替を選択したい場合、口座振替依頼書を送付して口座を登録します。最近では、この振替依頼書もオンライン提出ができるようになってきました。

かなり手続きが楽な口座振替ですが、弱点としては対象となる税目に限りがあることです。特に、法人が支払う税金である法人税等に関しては口座振替が利用できません。法人税等に関してはインターネットバンキングによる納付がありますが、あらかじめ e-tax の利用開始手続きや引落口座の登録などの処理が必要になり、口座振替と比べやや面倒です。



## クレジットカード払い



次に、クレジットカード払いも追加されました。ネット上の買い物でおなじみのクレジットカード払いが税金でも利用できるのです。対象となる税目は、個人の所得税や相続税、贈与税にとどまらず、法人税や法人事業税などの法人の税金も対象となり、国税・地方税に幅広く利用できます。

ただし、クレジットカード払いの最大の難点としては、決済手数料が取られることです。国税では1万円あたり76円（税抜き）の手数料がかかりますので、仮に100万円の国税をクレジットカード払いしようとするすると税込みで8,360円もの手数料がかかります。クレジットカード払いによってポイントがついたとしても、決済手数料の方が高くなってしまう可能性もあるので要注意です。

## その他の電子マネー決済

キャッシュレス推進策として大々的なポイント付与キャンペーンが一時話題となりましたが、PaypayやLINEPayなどによる税金納付もできるようになっています。

納付方法としては、納付書に記載されたバーコードを読み取り、内容を確認して残高から支払うだけという手軽さがあります。しかも、手数料はかからずポイントが付くというメリットもあります。

地方自治体によって対象となる税目は変わってきますが、住民税や固定資産税、軽自動車税などを対象とする自治体は多いようです。対象税目になっておりバーコード付きの納付書が届いているのであれば、選択肢のひとつとしてもよさそうです。



## キャッシュレスの流れは強い

消費者の購買だけでなく、税金の納付に関してもキャッシュレスの方向に進んでいっているのを感じます。在宅勤務の広がり等の勤務体制の変化や電子マネーの利用状況によっては、納税方法の変更によりメリットが生じることが考えられますので、一度見直しをしてみるとよいかもしれません。

（文章 石島慎二郎）



## 日常で起こる現象の「正式名称」



(文章：新妻舞)

皆様、ご無沙汰しております。お元気でしょうか。コロナ禍で長く厳しい状況が続いていますが1年前には名古屋へ行ったことを書いていたのに・・・外出自粛でなかなか遠出も出来ない今日この頃、ちょっと知識をつけようと思い、知っているとちょっとドヤれるかもしれない?! 日常の現象の正式名称を調べてみました(そんなこと常識! 知っていて当たり前! と思われる博識の方は温かい目で見守っていただければ幸いです。)

### ☆年をとるとなぜか時間が経つのが早く感じる・・・☆

年々、日々を過ごす中で「あれ? この前だと思ったらもう数か月前だ・・・」と軽くショックを受けることはありませんか? 私はよくあります! そんな現象の名前は・・・「**ジェネーの法則**」というそうです。

主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる現象を心理学的に説明したものをフランスの心理学者ピエール・ジェネが提唱したことによりそう呼ばれているそうです。

5歳の子の1年は人生の5分の1だが、50歳の子の1年はわずか50分の1で、歳をとると生きてきた年数によって1年の長さの比率が小さくなり、時間が早く感じるということだそうです。

毎日が新鮮に充実感や満足感をしっかりと実感できる日々を送れば「**ジェネーの法則**」も感じないのかもしれませんが。



### ☆携帯鳴った? と錯覚しちゃう・・・☆

ポケットや鞆に携帯電話を入れていると“ブルッ”と振動を感じ。携帯を取り出してみると着信やメールの受信、SNSの通知等もなく「あれ? 勘違いだったのかな・・・」そんなことはありませんか? 私は恥ずかしながらたまにあります。そんな現象の名前は・・・「**ファントム・バイブレーション・シンドローム(幻想振動症候群)**」というそうです。

日頃、着信通知を気にかけている人が振動に対して脳が過敏に反応することで起こるとされていて、原因としては心的ストレスとの関連性が指摘されているそうです。



原因が心的ストレスとは・・・携帯電話とは良い距離感でお付き合いしなければとつくづく思いました。こんな現象に身に覚えのある方はお気を付けください！

### ☆限定品売り切れてしまったものがやっぱり欲しい・・・☆

ちょっと気になったけど“また今度にしよう！”や“いつでも買えるし・・・”と思っていたものがまさかの“Sold Out”の表示を見た瞬間“やっぱり欲しかった！”と思うことはありませんか？私は結構あって後悔してばかりです。そんな現象の名前は「リアクタンス理論」というそうです。

人は“自由に選べる”と思っていたモノが選べなくなると心理的な抵抗感(リアクタンス)を抱き、その自由を取り戻そうとする心理から起こるそうです。この「リアクタンス理論」、お子さんに「勉強しなさい！」と言って「今やろうと思ってたのに！」と言ってやる気を失ってしまい全く勉強しようとしないう現象もこの「リアクタンス理論」だそうです。



似たような現象に“やったらダメ！”と言われ禁止されるほどやってみたくなる心理現象を「カリギュラ効果」というそうです。

ローマ帝国の皇帝カリグラをモデルにしたアメリカ映画「カリギュラ」が過激な内容のために一部地域で上映禁止になり、それがかえって話題になってしまったことに由来するそうです。

また、テスト前に掃除をはじめてしまい勉強の時間がないとか、仕事でも体調が悪いとか、あらかじめ言い訳をしてしまうことを「セルフ・ハンディキャッピング」というそうです。

自分が傷つくことのないよう予防線をはり、失敗すればハンディがあったせいにし、成功すれば「ハンディがあったのによくやった」などと、あらかじめハンディキャップを自分に与えるような行動を指す心理学用語だそうです。



「リアクタンス理論」も「カリギュラ効果」も「セルフ・ハンディキャッピング」も上手く活かしたらビジネスや生活にも役立ちそうですが、この心理現象のメリット・デメリットを認識して心理現象にも打ち勝てる強い心を自分自身で持ちたいと思いました。

以上、日常で起こるあの現象の「正式名称」をご紹介いたしました。ちょっとした雑学として知っていて損はないかと思えます。ひとつでもそんな名称なのか～と思っていただけで幸いです。